

日 時：平成 28 年 6 月 6 日（月）10:30～12:00

出 前 先：加西市南部公民館

受 講 者：加西市南部公民館高齢者学級「南部かしの木学園」受講者（97 名）

講 師：菅野耕三先生（大阪教育大学名誉教授）

授業題目：「加西市の地盤と自然災害－災害に備えよう－」

加西市南部公民館では 60 歳以上の市民の皆様を対象とした生涯学習講座（年 10 回）を「南部かしの木学園」として開催されており、その講師として講義を行う形式で本出前授業を実施しました。受講者は、「南部かしの木学園」の受講生である加西市民の皆様で、97 名の方々が聴講されました。講師は、大阪教育大学名誉教授の菅野耕三先生にお願いしました。

講演では、地盤災害にどのようなものがあるかの説明を皮切りに、加西市とその周辺地域の地盤の成り立ち、地質構造、地形、影響を及ぼしうる山崎断層帯を中心とした活断層の分布などを説明いただき、特に地震災害、豪雨による災害への備えの重要性を指摘されました。

地震災害については、地震に関する基礎的な知識として、海溝型地震と内陸の活断層に起因する直下型地震、地震波としての P 波と S 波の違い、P 波と S 波の到達時間差からの震源の推定方法などについて分かり易く説明されました。また、山崎断層地震で想定される被害の発生可能性と地盤条件が及ぼす影響、地震が発生した際の取るべき行動についても説明いただき、兵庫県北淡町における巨大地震発生時のグッドプラクティスの紹介を交えながら家庭レベルでの様々な「備え」や地域の付き合いの重要性を指摘されました。

一方、豪雨災害については、近隣の佐用町での 2009 年の被害例の紹介を交え、浸水被害が発生する可能性やアンダーパスの危険性を指摘されました。また、マンホールや側溝からの水の危険性について写真等を交えて紹介され、道路に水が溢れている場合には避難が危険であることを強調されました。最後に先生は、正しい防災知識に基づき、命を守るために自らが判断し、第一に自助の意識を持って行動することが最も重要であることを強調され、講演を締めくくられました。講演終了後も参加された皆様から熱心な質問が続き、皆様の防災への意識の高さが伺えました。

文責：乾 徹（京都大学）

